

残余検体の再利用に関するお願い

岡山大学病院 医療技術部 検査部門では、より質の高い医療の提供を目指し検査精度の向上、医学系教育、臨床研究など様々な取り組みを行なっています。その際、それぞれの活動に適した試料を用いる必要があり、検査終了後の検体を再利用させていただく場合がございます。

検査終了後の残余検体再利用についてご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いいたします。

残余検体について

残余検体とは、患者さんから採取した血液、尿、体液や組織など、医師が依頼したすべての検査が終了した検体を指します。

利用目的

残余検体の一部を、①検査の精度管理、新規検査の導入など日常業務の維持・改善の為に、また、②病院実習等の医学系教育の為に再利用します。なお、臨床研究で残余検体を利用する場合は、すべて岡山大学臨床研究審査専門委員会の審査・承認を得て、個別に研究責任者と窓口を設け実施しておりますので、そちらにお問い合わせください。

個人情報の保護について

部門内の規定に則り、氏名・患者番号・生年月日などの情報から個人が特定されることの無いよう、個人情報の保護に努めます。

日常業務、教育における残余検体の再利用に関してご了承いただけない場合は、下記の連絡先までご連絡ください。ご連絡いただいた患者さんの残余検体は利用しません。また、ご了承いただけない場合でも、患者さんが診療上の不利益を被ることはありません。

より質の高い医療を提供する為、ご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

岡山大学病院	検査部長	大塚 文男
	病理部長	松川 昭博
	輸血部長	藤井 伸治

【連絡先】

岡山大学病院 医療技術部 検査部門
技師長：東影 明人
連絡先：086-223-7151（代表）
対応時間：8:30~17:15（平日のみ）